

平成23年度 子ども・子育て県民意識調査 自由意見（抜粋）

【共通して多い意見】

- 保育所に預けにくい
（定員、要件、求職中、産後に上の子を預けられる期間が短い）
- 保育料が高すぎる（2人は半額になるが、パート代で消えてしまう）
- 一時預かりが利用しづらい（予約、定員、緊急時の利用ができない）
- 病児・病後時保育、休日保育がない（少ない）
- 予防接種の無料化、助成（特にインフルエンザ）（子どもが多いほど負担が大きい）
- 安心できる医療体制（休日・夜間、小児専門耳鼻科等、産婦人科）
- 医療費補助の小学校卒業までの延長
- 子どもをのびのび遊ばせられる環境整備（公園の数、明るさ、雰囲気、トイレ等）
- 歩道、通学路、駅等の整備（段差等がベビーカーに不便、外灯、信号、ガードレール）
- 父親の育児参加、職場の理解がない
- 市町村によって、支援内容が異なる（医療費助成等）

県・市町村別意見（◎良い点、●良くない点）

【県】

- ◎県庁にも授乳室やオムツ替えスペースができたというのを聞いて、とても嬉しく感じた（P4）
- ◎子育てほっとラインを利用させていただいた。誰にも相談できなかった時にじっくりと大変温かくお話を聞いて下さり、とても気持ちが落ち着き、もう一度前向きに子育てに向き合うことができた。大変ありがたく心から感謝している（P9）
- 市町村によって施策にばらつきがあるのは仕方がないが、県の施策で県内のそういった格差が少しでもカバーできるよう積極的な取り組みをお願いしたい。県の施策で何か育児に関して「良かった」と思える事業の展開を期待している（P38）
- 大分県の男性の育児参加は低いと聞いている。家事も同様に、自分の将来の為にも自立する事を子どもとともに意識を持っていく事が日本男性にはとても必要だと感じている。老人と関わる仕事をしているが、年を取ると本当に家事育児の経験は大切（P38）

【①大分市】

- ◎認可保育所の一時預かり、少人数で見てもらい、保育士さんがすばらしく、安心して預けられる（P1）
- 一時預かりは、急なときに必要なのに当日では難しかったり、月に何日までと規制があったりで、本当にイザというとき、困ったときに利用できない（P8）

【②別府市】

- ◎年々、子育て支援サービスは良くなっていると思う。「こんなサービスもあるんだ～」というのも、数年前よりも多くあるし、パパサークル的なものもGoodだと思う。共

働きが増えているからこそ、子どもが辛いさみしい思いをしない、また預ける親が安心して心に余裕を持ちながら子育てできる社会になるといいなと思う（P15）

- 休日の保育がない。両親の共働きが当たり前のご時世で、医療・福祉やサービス業をはじめ、日曜日や祝日、お盆や年末年始等休みが取れない両親が多いのが今の現状で、通っている保育所は休みになるため、非常に困っている（P15）

【③中津市】

- ◎ 愛育研究センターや、やわらぎ、桜っ子広場で、親子で参加してとても良い経験ができた。特に愛育研究センターでは、農業体験等、親自身でもやったことがない事を親子で楽しむことができ良かった（P22）
- 中津市は7ヶ月健診の後、1歳6ヶ月まで健診がない。大分市のように母子手帳に記載されている項目は、健診を実施してもらいたい（P20）

【④日田市】

- ◎ 4人の子どもを生み、安心して育てられることにとても感謝している。きっと他県では、こういう風にはいかなかっただろうと思う（P25）
- 出産・育児により退職しなければならず、再就職はなかなか難しく、働きたくても職はなく、経済的に苦しくなってしまうのが現状。出産により専業主婦になってしまった人の優先就職などがあれば良い。主婦が働きやすい場があることは、地域の活性化にもつながると思う（P24）

【⑤佐伯市】

- ◎ 県外から越してきたが、とても子育てしやすい環境（P33）
- 市街地の道路がベビーカーを押すのに不便だったり、子連れでの食事が大変だったり、小さなことがとても沢山（P29）

【⑥臼杵市】

- ◎ 仕事が休みのとき、よく保健センターのプレイルームを使用している。何が良いかという、安全、広い、雨天でも遊べるなど（P34）
- 子どもが安心して遊べる施設、公園なども不足していると思うので、遠出して遊ばせている（P34）

【⑦津久見市】

- ◎ 地域や家庭で情報を得て、賢く利用していけるものは利用しようと思う。まずは家庭環境をしっかりとさせ、ぶれない子育てを心がけている（P41）
- 保戸島に住んでいるため、救急の病気に対応した救急船の配備をお願いしたい。島に子どもを残すよう、県・市が一体となった支援を（P39）

【⑧竹田市】

- ◎保育所や小学校・放課後児童クラブ等は少人数で地域と密接にしており、先生方にも大変よくしてもらっているの、その点はありがたい (P44)
- 育児休暇中、上の子どもは保育所を退所しなければならない。子育ては母親1人でしると突き放された気持ちになる。支援センターまで車で30分以上かかり、小さい子どもを複数連れていくのは大変 (P42)

【⑨豊後高田市】

- ◎豊後高田市は、公園や「花っこルーム」など、子どもを遊ばせる場所もあるし、予防接種の助成もあるし、子どもと参加できるイベントも多いので助かる (P46)
- 医療面で、高田中央病院に週1回しか先生が来られないので、いつも来てもらえて夜間診療もあると、不安が少しでもなくなると思う (P47)

【⑩杵築市】

- 働くママが安心して働けるように、病児保育施設を充実させてほしい (P50)

【⑪宇佐市】

- ◎訪問指導に来てくださった助産師さんのおかげで1人で悩まず母乳育児ができた (P53)
- 認可外でも同じ補助を受けられるように市にお願いしてきたが変わらない状況。同じように3人子どもを産み、同じ市に住んでいるのに補助を受けられるのと受けられないのは大きな差がある (P53)

【⑫豊後大野市】

- ◎「妊婦さん教室」や「パパ・ママ学級」等、はじめての出産・子育てにアドバイスを受ける機会がたくさんある。保健師の話を聞く機会なんかも (P57)
- 一時預かりの場所を保育所以外で作ってほしい。保育所に預けるには気を使ってしまう (P58)

【⑬由布市】

- ◎他県に比較すると大分県は、子育てしやすい環境にあると思う。自然に恵まれ、子どもたちと出かける公園もずいぶん充実してきた (P61)
- 子どもがけいれんを起こした時に、湯布院には救急車が1台しかないそうで、他にも要請が入っているため挾間、庄内から出動するとの事だった。もっと乳児、小児のための医療体制を整えてほしい (P63)

【⑭国東市】

- ◎今住んでいる地域は、支援センター、園庭開放などがほぼ毎日あり、買い物に行けば周りの人が子どもにたくさん声をかけてくれ、散歩に行けば庭で作っている野菜をく

れるなど子どもを地域全体で育ててくれる感じがあって、とても満足している (P68)

- 市や町の事情で学校の校区が変更され、子どものために考えられた内容ではないと感じる。地域の意見は全く聞かずに決定されることに少し不満 (P67)

【⑮姫島村】

- 就業できるというのが、出産後とても希望すること。子育てもやりがいがあるとはいえ、働かなければ生活できない。運よく就職できでも出産のたびに退職となってしまうため、なかなかたくさんの子をもうけるのは困難。経済的な支援は大切だが、その支援がなくても安心な体制と環境が最も望むところ (P70)

【⑯日出町】

- 通園時の交差点が信号もなく、黄色い旗も設置されていないため、親としては不安でたまらない。地域でのそういう通学路の危険な箇所は配慮してほしい (P71)

【⑰九重町】

- ◎比較的、九重町は子育てに資金面など充実している方だと思う。やはり「お金がかかる＝子育て」という感じが強く、あまり多くの子どもを求めない夫婦が多いが、わりと九重は3人目、4人目という人も少なくない。医療やこども園などの施設等が利用しやすく子育て中には住みやすい (P77)
- 今年、第2子を出産して、第1子を保育所に預けていたが、産後半年しか預けられないと言われ、職場復帰を1ヶ月早めざるを得なかった (P75)

【⑱玖珠町】

- 夜間、子どもをみってくれる小児科はなく、突然高熱の時とかは1時間ちょっとかかるが別府まで行っている。そういうのは不便 (P78)
- 大分の中での田舎と都会で求めるニーズが違いすぎると思う。大事なのは困っている時に助けてもらえる柔軟な対応 (P80)